

平成23年度

福島県の一般廃棄物処理の状況

(平成24年3月末現在)



リーフィンクル

福島県ごみ減量化・リサイクル推進マスコットキャラクター

福島県生活環境部
一般廃棄物課

目 次

第1編 本編	1
1 福島県の一般廃棄物処理について	2
(1) 平成23年度一般廃棄物処理事業の概要	2
(2) 福島県廃棄物処理計画	4
2 福島県のごみ処理の状況	7
(1) ごみの排出量について	7
(2) ごみの分別収集状況について	12
(3) ごみの処理状況について	12
(4) リサイクル率について	14
(5) 最終処分場埋立量について	16
3 福島県のし尿処理の状況	18
(1) 水洗化の状況について	18
(2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について	18
(3) 浄化槽の設置状況について	21
第2編 統計データ編	23
1 平成23年度廃棄物処理事業経費	24
2 平成23年度廃棄物処理事業委託・許可件数	32
3 平成23年度廃棄物処理業者及び従業員の状況	33
4 平成23年度ごみ処理の概要	34
5 平成23年度ごみ搬入量の内訳	37
6 平成23年度ごみ処理量の内訳	42
7 平成23年度資源化量の内訳	44
8 平成23年度ごみ処理手数料の状況(生活系)	48
9 平成23年度ごみ処理手数料の状況(事業系)	56
10 平成23年度ごみの収集運搬体制の状況(生活系)	64
11 平成23年度ごみの収集運搬体制の状況(事業系)	73
12 市町村におけるごみ減量化推進体制整備状況	82
13 市町村における生ごみ処理機(コンポスト容器も含む)普及促進策	83
14 住民団体等による集団回収への援助措置実施状況	87
15 平成23年度一般廃棄物処理施設整備事業一覧(国費による助成事業)	88
16 平成23年度水洗化人口等の状況	89
17 平成23年度し尿処理の状況	91
第3編 資料編	93
1 一般廃棄物処理施設の状況	94
2 環境美化条例等制定状況	110
3 市町村廃棄物関係担当課一覧	112
4 一部事務組合一覧	113

第1編 本編

1 福島県の一般廃棄物処理について

(1) 平成23年度一般廃棄物処理事業の概要

ア 計画処理区域

平成23年10月1日現在の福島県の人口は2,001,202人で、ごみ処理及びし尿処理ともに県全域(13,782.75km²)が処理区域となっています。

一般廃棄物処理事業は、市町村及び一部事務組合により行われており、平成24年3月31日現在では、13市31町15村の59市町村、14組合となっています。

イ 一般廃棄物処理事業経費

平成23年度の市町村における一般廃棄物処理事業費は約245億円で、前年度(約228億円)と比較すると約7.5%増加しています。

表-1 平成23年度一般廃棄物処理事業費 (単位:千円)

廃棄物処理事業経費	ごみ処理経費 20,512,037			し尿処理経費 4,007,148		
	建設改良費	処理及び維持管理費	その他	建設改良費	処理及び維持管理費	その他
24,519,185 (22,815,837)	2,165,024 (997,256)	18,005,927 (17,154,952)	341,086 (428,948)	212,957 (58,360)	3,570,603 (3,593,774)	223,588 (582,547)

(注)建設改良費:施設の建設や改良に係る工事費、調査費

処理及び維持管理費:通常の処理に係る人件費、処理費、修繕費、車両等購入費

()の数値は平成22年度実績

ウ 一般廃棄物処理業者数等の状況

平成23年度末現在のごみ処理及びし尿処理を委託又は許可をしている業者数は644、その従業員数は5,101人となっており、前年度と比較すると、業者数は減少しましたが、従業員数は微増しています。

表-2 平成23年度一般廃棄物処理業者数等

県内に主たる事務所を有する事業者				従業員数(人)			
総数	ごみ専業	し尿専業	兼業	合計	収集運搬	中間処理	最終処分
644 (672)	550 (551)	118 (96)	24 (25)	5,101 (5,051)	4,382 (4,420)	716 (646)	12 (12)

(注1)()内は平成22年度実績

(注2)従業員数は、業務の兼務により内訳と合計数が一致しません。

エ 一般廃棄物処理施設設置状況

平成23年度末における稼働中の一般廃棄物処理施設は113施設で、ごみ処理施設が65施設、し尿処理施設が26施設、一般廃棄物最終処分場が22施設

となっており、それぞれの施設整備に当たっては、主に循環型社会形成推進交付金（平成16年度以前は廃棄物処理施設整備費国庫補助金）が活用されています。

表-3 一般廃棄物処理施設設置状況 (平成23年度末現在)

施設種類		施設数	施設能力
ごみ処理施設	ごみ焼却施設	23	3,003 (t/日)
	粗大ごみ処理施設	14	476 (t/日)
	資源化施設	27	333.4 (t/日)
	その他の施設	1	5 (t/日)
	小計	65	
し尿処理施設	し尿処理施設	23	2,106 (kℓ/日)
	コミュニティプラント	3	計画処理人口7,540人
	小計	26	
一般廃棄物最終処分場		22	残余容量 1,315千㎡ 残余年数 10.2年
合計		113	

(注) 残余年数は、残余容量を平成23年度の埋立容量実績(覆土を含む)で除したものの。

オ 一般廃棄物処理手数料の徴収状況

生活系ごみの処理については、資源ごみを除き4割以上の市町村において、また、事業系ごみは9割近くの市町村で有料化が図られています。

また、し尿及び浄化槽汚泥の処理については、収集を行っているすべての市町村（委託を含む）で有料化されています。

表-4 平成23年度ごみ処理有料化の状況(直接搬入は除く)(単位:市町村数)

種類		生活系ごみ (割合%)	事業系ごみ (割合%)
可燃ごみ		27 (45.8%)	51 (86.4%)
不燃ごみ		27 (45.8%)	49 (83.1%)
資源ごみ	紙	4 (6.8%)	15 (25.4%)
	金属	14 (23.7%)	19 (32.2%)
	ガラス	13 (22.0%)	20 (33.9%)
	ペットボトル	13 (22.0%)	20 (33.9%)

種 類		生活系ごみ (割合%)	事業系ごみ (割合%)
資源ごみ	プラスチック	10 (16.9%)	15 (25.4%)
	布類	0 (0%)	6 (10.2%)
	生ごみ	0 (0%)	2 (3.4%)
	その他	0 (0%)	2 (3.4%)
その他収集ごみ		2 (3.4%)	6 (10.2%)
粗大ごみ		24 (40.7%)	32 (54.2%)

(注1)割合の分母は平成22年度末現在の市町村数で59です。

(注2)資源ごみの「その他」は、再資源化を目的として収集されるもののうち、他の品目に分類できないものを指し、具体的には白色トレイや廃食油などがあります。

(注3)「その他収集ごみ」は他の種類に分類できないごみであり、「有害ごみ」や「危険ごみ」などがあります。

表一5 平成23年度し尿及び浄化槽汚泥の処理手数料の状況(単位:市町村数)

種 類	有 料		無 料
	従量・回数制	定額制	
し 尿	40 (67.8%)	5 (8.5%)	0
浄化槽汚泥	41 (69.5%)	4 (6.8%)	0

(注)割合の分母は平成23年度末現在の市町村数で59です。(他13市町村では、非委託許可業者により、し尿及び浄化槽汚泥の汲み取りが実施されています。)

(2) 福島県廃棄物処理計画

「福島県廃棄物処理計画」については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、平成14年3月に策定、平成18年3月に見直しを行った後、地球温暖化対策にも配慮した循環型社会形成の取組みを強化していくという基本的な考えの下、平成22年度に平成23年度以降の新たな廃棄物処理計画を策定しました。

ア ごみ処理に関する課題

- ①ごみ排出量の減量、再生利用の推進、最終処分量の更なる削減が必要です。
- ②ごみ処理施設について、既存処理施設の更新時期等を考慮し、計画的かつ効率的な施設整備の推進が必要です。
- ③ごみの不法投棄防止、在宅医療廃棄物や災害廃棄物の適正処理等への対策を進める必要があります。

イ 基本方針

一般廃棄物に関する課題を踏まえ、次の3つの事項を施策の基本方針として取り組んでいくこととします。

- ①ごみの発生抑制、再生利用の推進、最終処分量の削減の推進
- ②ごみ処理施設の効率的な整備及び適切な維持管理の促進
- ③ごみの適正処理の推進

ウ ごみ減量化・リサイクルの目標値（平成27年度における目標値）
県民に分かりやすい目標指標として次のように目標値を設定しました。

① 1人1日当たりのごみの排出量	915 g/人・日
② リサイクル率	26%
③ 1日当たりの最終処分量	200 t/日

エ 目標達成のための推進施策

目標を達成するため、次の施策の推進を図ることとします。

①ごみの発生抑制、再生利用の推進、最終処分量の削減の推進

- 意識啓発の推進
- 日常生活での取組の推進（マイバッグ、生ごみの減量化など）
- 集団回収の促進
- リサイクル製品の使用促進
- ごみ処理有料化の取組促進

②ごみ処理施設の効率的な整備及び適切な維持管理の促進

- 計画的かつ効率的なごみ処理施設整備の促進
- 廃棄物系バイオマス利活用のための施設設置の促進

③ごみの適正処理の推進

- 在宅医療廃棄物処理対策の促進
- 災害廃棄物の適正処理の促進

2 福島県のごみ処理の状況

平成23年度のごみ処理の状況は次のとおりです。

1 ごみの排出量

(1) 排出量

782,473 (t/年) 【前年度 733,364 t/年】

前年度と比較すると 49,109 t 増加しています。

(2) 1人1日当たりの排出量 【目標値 915 g/人・日】

1,068 (g/人・日) 【前年度 985 g/人・日】

前年度と比較すると 83 g 増加しています。目標値と比較すると 153 g オーバーしています。

2 リサイクル率 【目標値 26%】

14.1 (%) 【前年度 14.2%】

前年度と比較すると 0.1 ポイント減少しており、目標値との比較では 11.9 ポイント足りない状況です。

3 最終処分場埋立量

(1) 総埋立量

104,259 (t/年) 【前年度 91,700 t/年】

前年度と比較すると 12,559 t 増加しています。

(2) 1日当たりの埋立量 【目標値 200 t/日】

285 (t/日) 【前年度 251 t/日】

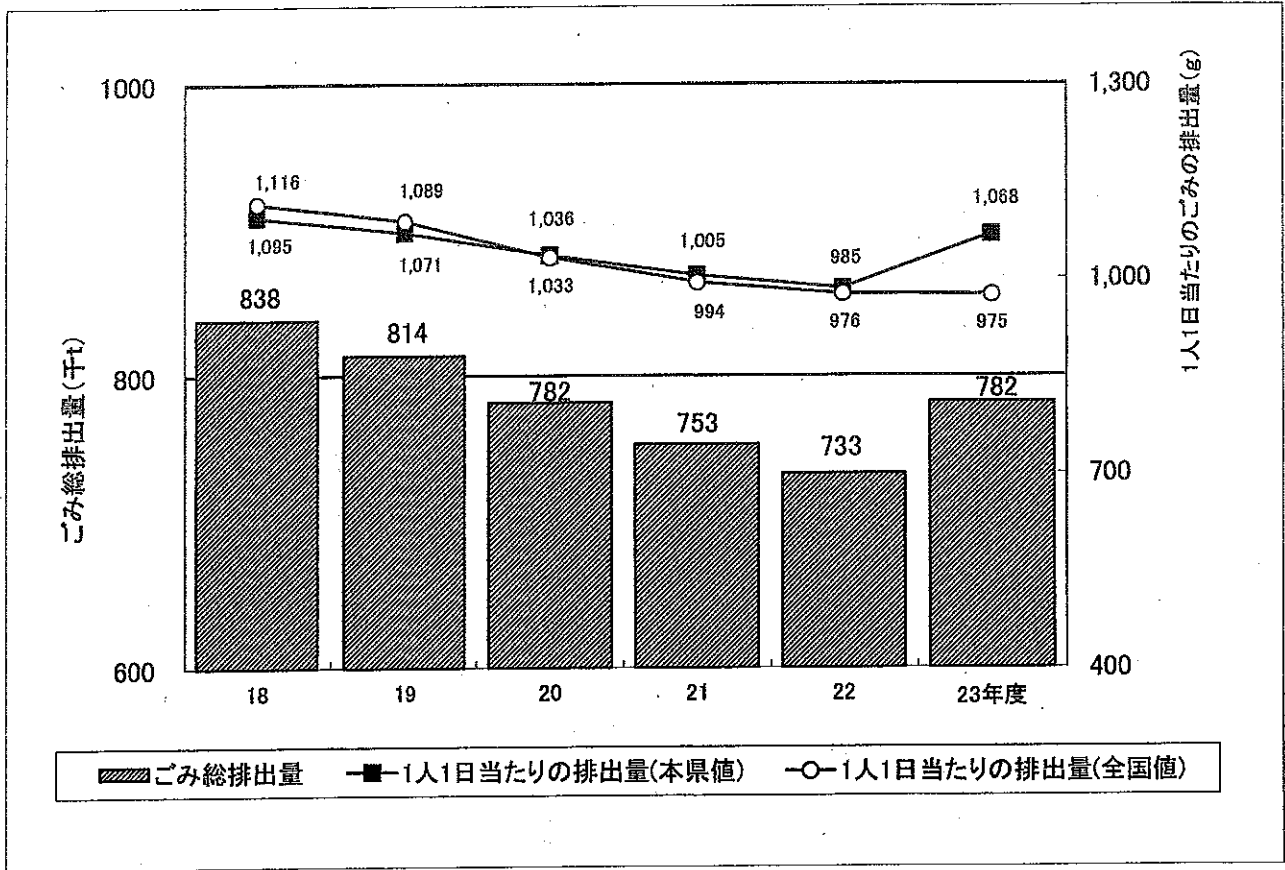
前年度と比較すると 34 t 増加しています。目標値と比較すると 85 t オーバーしています。

※1の(1)、(2)、3の(1)、(2)は、前年度に比べて増加していますが、これは、東日本大震災による影響が大きいものと考えられます。

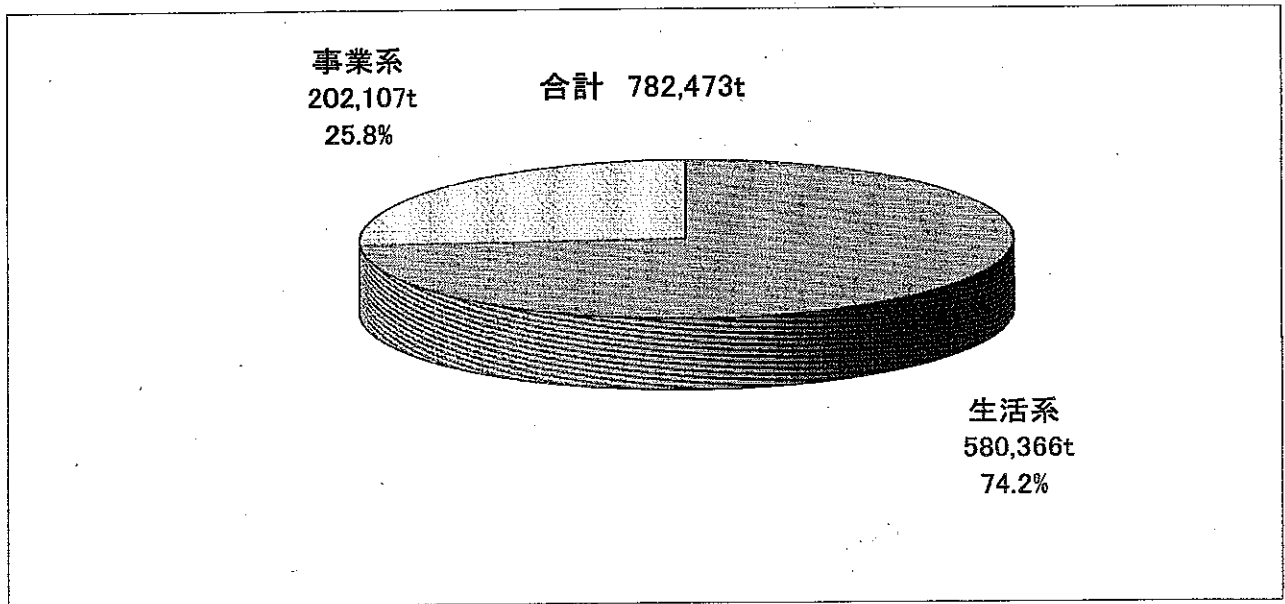
(1) ごみの排出量について

平成23年度におけるごみの総排出量は 782,473 t で、1人1日当たりに換算すると 1,068 g となります。これを全国平均の 975 g と比較すると 93 g 多くなっています。

また、生活系・事業系に分類すると、生活系ごみが 580,366 t、事業系ごみが 202,107 t と、前年度と同様、事業系ごみが約 1/4 を占めています。



図一 1 ごみの排出量の推移



図一 2 生活系ごみと事業系ごみの排出割合

○ 市町村別1人1日当たりのごみ排出量の状況

平成22年度と比較して、1人1日当たりのごみ排出量が減少した市町村のランキングは表-6のとおりです。

また、人口規模別の1人1日当たりのごみ排出量が少ない市町村のランキングは表-7のとおりです。

平成23年度は、汚染廃棄物対策指定地域（一部を含む）を除く大半の市町村において、ごみ排出量が増加していますが、これは東日本大震災による影響が大きいものと考えられます。

表-6 1人1日当たりのごみ排出量の対前年度比(単位:g)

順位	市町村名	対前年度比	H23年度	H22年度	順位	市町村名	対前年度比	H23年度	H22年度
1	大熊町	-800	0	800	31	塙町	49	933	884
2	富岡町	-764	0	764	32	会津若松市	49	1,162	1,113
3	檜葉町	-740	2	742	33	いわき市	52	1,108	1,056
4	浪江町	-698	0	693	34	柳津町	52	737	685
5	双葉町	-686	0	686	35	中島村	53	462	408
6	広野町	-352	425	778	36	猪苗代町	56	1,141	1,085
7	葛尾村	-259	14	273	37	小野町	60	749	689
8	川内村	-256	132	388	38	矢祭町	63	577	514
9	南相馬市	-160	773	933	39	矢吹町	64	786	722
10	飯館村	-156	126	281	40	三島町	65	837	772
11	北塩原村	-75	974	1,049	41	鮫川村	66	454	388
12	古殿町	-72	719	792	42	西郷村	66	868	802
13	会津坂下町	-64	805	869	43	国見町	70	1,142	1,072
14	檜枝岐村	-20	1,238	1,258	44	田村市	89	731	641
15	湯川村	-1	644	645	45	西会津町	100	791	691
16	磐梯町	10	919	909	46	二本松市	101	839	738
17	玉川村	10	705	695	47	川俣町	105	1,027	922
18	石川町	22	812	790	48	新地町	109	651	542
19	白河市	23	911	888	49	福島市	119	1,179	1,061
20	伊達市	24	1,003	978	50	三春町	121	957	837
21	南会津町	24	1,074	1,050	51	只見町	145	1,168	1,023
22	相馬市	25	1,019	993	52	昭和村	178	875	698
23	泉崎村	26	597	571	53	郡山市	218	1,398	1,180
24	平田村	28	589	561	54	本宮市	222	1,007	785
25	浅川町	28	772	744	55	喜多方市	224	1,265	1,041
26	棚倉町	44	958	914	56	大玉村	255	891	636
27	下郷町	45	964	919	57	天栄村	422	1,213	792
28	金山町	45	626	581	58	須賀川市	472	1,403	931
29	桑折町	45	1,162	1,117	59	鏡石町	482	1,422	940
30	会津美里町	48	895	847					

※ 汚染廃棄物対策指定地域
 ※ 一部汚染廃棄物対策地域

(注1) 対前年度比の数値は各年度の小数点第1位以下も含めたごみ排出量の差のため数値が合わない場合があります。

(注2) 対前年度比の数値が同じ場合の順位付けは端数により行っています。

表-7 1人1日当たりのごみの排出量 (単位: g)

(1) 人口5万人以上
(10市)

順位	市町村名	排出量
1	南相馬市	773
2	二本松市	839
3	白河市	911
4	伊達市	1,003
5	いわき市	1,108
6	会津若松市	1,162
7	福島市	1,179
8	喜多方市	1,265
9	郡山市	1,398
10	須賀川市	1,403
	平均	1,173

(3) 人口5千人~1万人未満
(18町村)

順位	市町村名	排出量
1	双葉町	0
2	楡葉町	2
3	飯館村	126
4	広野町	425
5	中島村	462
6	矢祭町	577
7	平田村	589
8	泉崎村	597
9	新地町	651
10	玉川村	705
11	古殿町	719
12	浅川町	772
13	西会津町	791
14	大玉村	891
15	埴町	933
16	下郷町	964
17	国見町	1,142
18	天栄村	1,213
	平均	666

(5) 全市町村
(59市町村)



順位	市町村名	排出量
1	浪江町	0
1	富岡町	0
1	大熊町	0
1	双葉町	0
5	楡葉町	2
6	葛尾村	14
7	飯館村	126
8	川内村	132
9	広野町	425
10	鮫川村	454
11	中島村	462
12	矢祭町	577
13	平田村	589
14	泉崎村	597
15	金山町	626
16	湯川村	644
17	新地町	651
18	玉川村	705
19	古殿町	719
20	田村市	731
21	柳津町	737
22	小野町	749
23	浅川町	772
24	南相馬市	773
25	矢吹町	786
26	西会津町	791
27	会津坂下町	805
28	石川町	812
29	三島町	837
30	二本松市	839
31	西郷村	868
32	昭和村	875
33	大玉村	891
34	会津美里町	895
35	白河市	911
36	磐梯町	919
37	埴町	933
38	三春町	957
39	棚倉町	958
40	下郷町	964
41	北塩原村	974
42	伊達市	1,003
43	本宮市	1,007
44	相馬市	1,019
45	川俣町	1,027
46	南会津町	1,074
47	いわき市	1,108
48	猪苗代町	1,141
49	国見町	1,142
50	会津若松市	1,162
51	桑折町	1,162
52	只見町	1,168
53	福島市	1,179
54	天栄村	1,213
55	檜枝岐村	1,238
56	喜多方市	1,265
57	郡山市	1,398
58	須賀川市	1,403
59	鏡石町	1,422
	平均	1,068

(2) 人口1万人~5万人未満
(19市町村)

順位	市町村名	排出量
1	浪江町	0
1	富岡町	0
1	大熊町	0
4	田村市	731
5	小野町	749
6	矢吹町	786
7	会津坂下町	805
8	石川町	812
9	西郷村	868
10	会津美里町	895
11	三春町	957
12	棚倉町	958
13	本宮市	1,007
14	相馬市	1,019
15	川俣町	1,027
16	南会津町	1,074
17	猪苗代町	1,141
18	桑折町	1,162
19	鏡石町	1,422
	平均	826

(4) 人口5千人未満
(12町村)

順位	市町村名	排出量
1	葛尾村	14
2	川内村	132
3	鮫川村	454
4	金山町	626
5	湯川村	644
6	柳津町	737
7	昭和村	837
8	三島町	875
9	磐梯町	919
10	只見町	974
11	北塩原村	1,168
12	檜枝岐村	1,238
	平均	728

※  汚染廃棄物対策指定地域
 ※  一部汚染廃棄物対策地域

【参考】

全国平均 975 g/人・日
 1位 奈良県野迫川村 163.7 g/人・日
 2位 徳島県神山町 249.4 g/人・日
 3位 長野県中川村 334.2 g/人・日

(注) 太字は、生活系可燃ごみの有料化を実施している27市町村

○ 有料化の実施とごみ排出量の関係について

本県では、生活系可燃ごみの有料化は27市町村で実施されていますが、ごみ処理有料化の実施とごみの排出量の関係については、表-8のとおり、生活系可燃ごみの有料化を実施している市町村は未実施の市町村に比べ、1人1日当たりのごみ排出量(平均)が514g(44%)少なくなっています。

また、人口区分ごとにみても、同様の傾向となっています。(有料化実施市町村は、表7の太字部分及び第2編統計データ編「8 平成23年度ごみ処理手数料の状況(生活系)」を参照。)

表-8 有料化の実施の有無による1人1日当たりのごみ排出量

(単位:g)

	有料化実施	有料化未実施	差
排出量	647 (27)	1,161 (32)	-514
人口50,000人以上の市町村の排出量	911 (1)	1,185 (9)	-274
人口10,000~50,000人の市町村の排出量	635 (11)	1,060 (8)	-425
人口5,000~10,000人の市町村の排出量	507 (12)	941 (6)	-434
人口5,000人未満の市町村の排出量	264 (3)	877 (9)	-613

※()内は市町村数

※(一部) 汚染廃棄物対策指定地域を含む。

(2) ごみの分別数の状況について

各市町村においては、容器包装リサイクル法が平成9年度から本格施行されたことなどにより分別収集が進んできています。

平成23年度の状況は表-9のとおりであり、分別数は21区分から3区分までとなっています。

表-9 ごみの分別数の状況

21	双葉町	1
19	二本松市、本宮市、大玉村	3
18	三春町	1
17	石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、檜枝岐村、会津坂下町	7
16	鏡石町、猪苗代町、会津美里町、南相馬市、飯館村	5
15	国見町、田村市、小野町、天栄村、西会津町、磐梯町、檜葉町、新地町	8
14	伊達市、須賀川市、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村、会津若松市、下郷町、南会津町、柳津町、三島町、富岡町、川内村、いわき市	14
13	郡山市、桑折町、湯川村、北塩原村、只見町、浪江町	6
12	福島市、白河市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町	6
11	川俣町、昭和村、相馬市	3
10	金山町	1
9	大熊町	1
7	広野町	1
6	喜多方市	1
3	葛尾村	1

(注1) 分別数とはごみを出す住民に対し市町村が求める分別の数。よって、例えばアルミ缶とスチール缶を同じ袋で一括して出させている場合には、その後にごみ処理施設で分別している場合でも、分別数は1と数えています。

(注2) 合併した市町で地域により分別数が異なる場合は、最も人口が多い地域の分別数を採用して集計しました。

(3) ごみの処理状況について

平成23年度のごみ処理フローは、次項の図-3のとおりです。

一般廃棄物処理施設で処理されたごみの総量は743,240 tで、このうち、直接焼却処理された量は620,108 t (83.4%)、粗大ごみ処理施設等での処理量は81,546 t (11.0%)となっています。

最終処分された量は104,259 tで、このうち、焼却等の中間処理後に最終処分された量が92,899 t (89.1%)、直接最終処分された量が11,360 t (10.9%)となっています。

総資源化量は108,783 tで、このうち、収集後に直接資源化された量が30,226 t (27.8%)、焼却施設や粗大ごみ処理施設等の廃棄物処理施設を経て資源化された量が47,827 t (44.0%)、集団回収量が30,730 t (28.2%)となっています。

処理人口等 (単位：千人)

処理系統図 (単位：t/年)

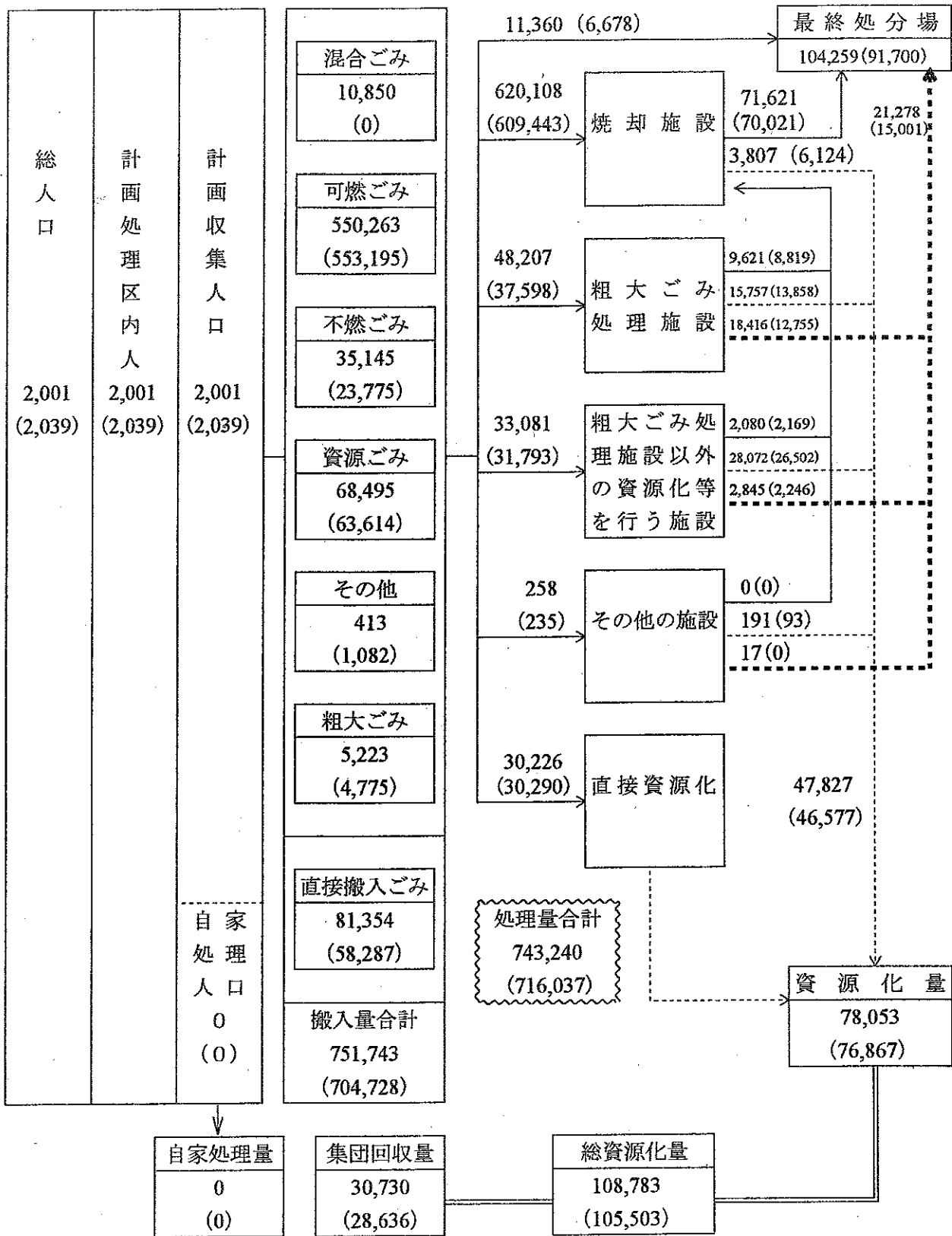


図-3 ごみ処理のフロー図

(注) () 内は平成 22 年度の実績

前年度搬入分を処理するなどの理由により、搬入量と処理量は一致しません。

(4) リサイクル率・資源化率について

リサイクル率は、平成19年度から下降傾向となっており、前年度からは0.1ポイントの低下となっています。

資源化率は、近年横ばい傾向であり、前年度からは0.2ポイントの低下となっています。

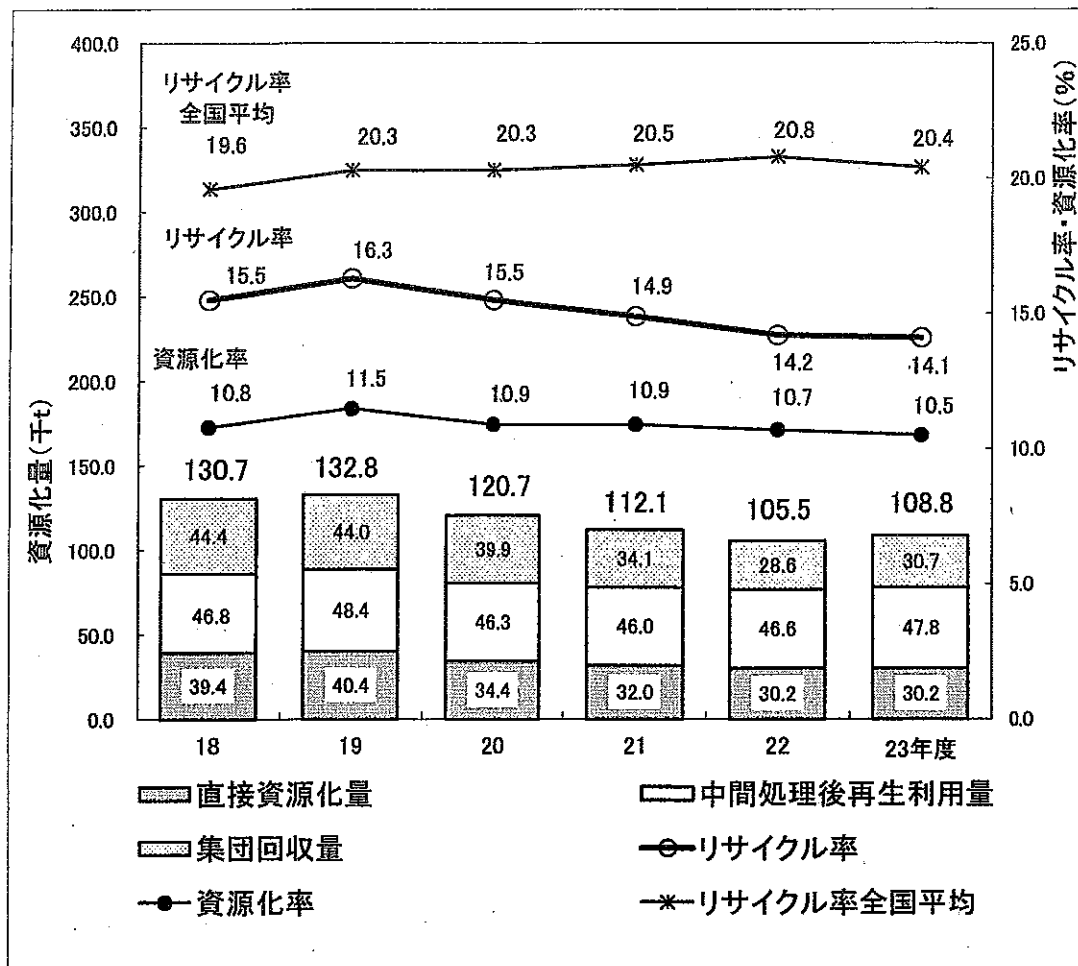


図-4 総資源化量とリサイクル率の推移

$$\text{資源化量} = (\text{直接資源化量}) + (\text{中間処理後の再生利用量})$$

$$\text{総資源化量} = (\text{直接資源化量}) + (\text{中間処理後の再生利用量}) + (\text{集団回収量})$$

$$\text{リサイクル率} = \frac{(\text{総資源化量})}{(\text{ごみ処理量}) + (\text{集団回収量})} \times 100$$

$$\text{資源化率} = \frac{(\text{資源化量})}{(\text{ごみ処理量})} \times 100$$

○ 市町村別リサイクル率の状況

人口規模別のリサイクル率の高い市町村のランキングは表-10のとおりです。

表-10 リサイクル率 (単位: %)

(1) 人口5万人以上
(10市)

順位	市町村名	リサイクル率
1	二本松市	19.3
2	いわき市	19.0
3	猪苗代市	16.7
4	会津若松市	16.5
5	福島市	12.2
6	伊達市	11.6
7	郡山市	11.5
8	須賀川市	11.3
9	白河市	11.0
10	喜多方市	5.6
	平均	13.9

(3) 人口5千人~1万人未満
(18町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	飯館村	41.4
2	楢葉町	20.0
3	西会津町	19.8
4	大玉村	18.9
5	新地町	16.8
6	中島村	15.4
7	下郷町	15.3
8	泉崎村	14.0
9	矢祭町	13.9
10	国見町	13.2
11	平田村	13.1
12	玉川村	12.5
13	浅川町	12.4
14	古殿町	10.8
15	塙町	10.7
16	天栄村	10.2
17	広野町	0.0
-	双葉町	-
	平均	14.5

(5) 全市町村
(59市町村)



順位	市町村名	リサイクル率
1	飯館村	41.4
2	三春町	21.3
3	田村市	20.4
4	檜枝岐村	20.3
5	楢葉町	20.0
6	西会津町	19.8
7	二本松市	19.3
8	小野町	19.2
9	本宮市	19.1
10	いわき市	19.0
11	大玉村	18.9
12	柳津町	18.1
13	湯川村	17.6
14	猪苗代町	17.3
15	新地町	16.8
16	猪苗代市	16.7
17	会津若松市	16.5
18	会津坂下町	16.5
19	鮫川村	16.4
20	昭和村	16.2
21	三島町	15.4
22	中島村	15.4
23	下郷町	15.3
24	会津美里町	15.1
25	桑折町	14.8
26	西郷村	14.4
27	泉崎村	14.0
28	矢祭町	13.9
29	相馬市	13.8
30	鏡石町	13.3
31	国見町	13.2
32	平田村	13.1
33	川内村	12.9
34	玉川村	12.5
35	葛尾村	12.5
36	浅川町	12.4
37	矢吹町	12.3
38	福島市	12.2
39	伊達市	11.6
40	郡山市	11.5
41	須賀川市	11.3
42	南会津町	11.2
43	石川町	11.1
44	白河市	11.0
45	古殿町	10.8
46	塙町	10.7
47	棚倉町	10.4
48	天栄村	10.2
49	只見町	9.5
50	川俣町	8.2
51	金山町	7.2
52	喜多方市	5.6
53	磐梯町	5.5
54	北塩原村	3.4
55	広野町	0.0
-	富岡町	-
-	大熊町	-
-	双葉町	-
-	浪江町	-
	平均	14.1

(2) 人口1万人~5万人未満
(19市町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	三春町	21.3
2	田村市	20.4
3	小野町	19.2
4	本宮市	19.1
5	猪苗代町	17.3
6	会津坂下町	16.5
7	会津美里町	15.1
8	桑折町	14.8
9	西郷村	14.4
10	相馬市	13.8
11	鏡石町	13.3
12	矢吹町	12.3
13	南会津町	11.2
14	石川町	11.1
15	棚倉町	10.4
16	川俣町	8.2
-	浪江町	-
-	富岡町	-
-	大熊町	-
	平均	15.2

(4) 人口5千人未満
(12町村)

順位	市町村名	リサイクル率
1	檜枝岐村	20.3
2	柳津町	18.1
3	湯川村	17.6
4	鮫川村	16.4
5	昭和村	16.2
6	三島町	15.4
7	川内村	12.9
8	葛尾村	12.5
9	只見町	9.5
10	金山町	7.2
11	磐梯町	5.5
12	北塩原村	3.4
	平均	11.5

※  汚染廃棄物対策指定地域
 ※  一部汚染廃棄物対策地域

【参考】

全国ベスト3

- 1位 鹿児島県大崎町 79.5%
- 2位 鹿児島県志布志市 76.3%
- 3位 福岡県篠栗町 68.3%

(5) 最終処分場埋立量について

平成23年度の最終処分量は104.3千tと増加しており、前年度の91.7千tと比較すると12.6千t増加しています。(1日当たりでは34.4tの増加)

また、直接最終処分量も11.4千tと増加しており、前年度の6.7千tと比較すると5千tの増加となっています。

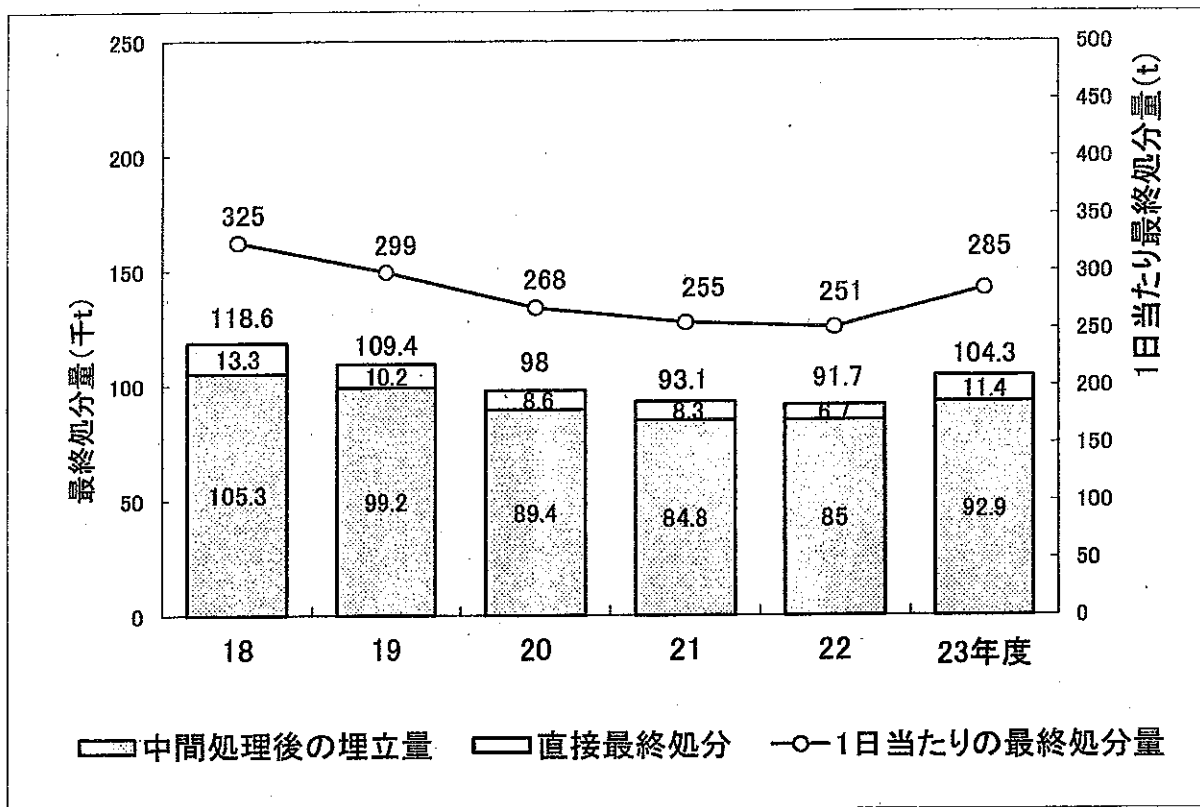


図-5 最終処分量と1日当たりの最終処分量の推移

表-11 ごみ処理の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
a 総人口(人)	2,096,295	2,076,623	2,066,222	2,052,182	2,039,345	2,001,202	
b 計画処理区域内人口(人)	2,096,295	2,076,623	2,066,222	2,052,182	2,039,345	2,001,202	
c 計画収集人口(人)	2,096,295	2,076,623	2,066,222	2,052,182	2,039,345	2,001,202	
d 自家処理人口(人)	0	0	0	0	0	0	
e ごみ処理事業経費(千円)	21,270,693	25,189,553	20,257,782	19,143,535	18,581,156	20,512,037	
f 建設改良費(千円)	3,266,266	6,806,779	2,170,532	577,081	997,256	2,165,024	
g 処理及び施設維持管理経費(千円)	17,333,513	17,634,789	17,390,521	17,861,949	17,154,952	18,005,927	
h その他(千円)	670,914	747,985	696,729	704,505	428,948	341,086	
i 1人当たりの処理事業経費(円)	10,147	12,130	9,804	9,328	9,111	10,250	
j 1人当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	8,269	8,492	8,417	8,704	8,412	8,998	
k 1t当たりの処理及び施設維持管理経費(円)	21,773	22,837	23,486	24,918	23,958	24,226	
l ごみ総排出量(t/年)	837,965	813,723	781,583	753,095	733,364	782,473	
m 1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	1,095	1,071	1,036	1,005	985	1,068	
n 計画収集量(t/年)	793,520	769,716	741,643	718,971	704,728	751,743	
o 収集ごみ量(t/年)	719,578	705,338	680,404	659,101	646,441	670,389	
p 直接搬入量(t/年)	73,942	64,378	61,239	59,870	58,287	81,354	
q 生活系ごみ搬入量(t/年)	542,071	535,651	522,288	511,511	507,333	549,636	
r 事業系ごみ搬入量(t/年)	251,449	234,065	219,355	207,460	197,395	202,107	
s 自家処理量(t/年)	0	0	0	0	0	0	
t ごみ処理量(t/年)	796,105	772,209	740,461	716,832	716,037	743,240	
u 直接焼却量(t/年)	663,827	645,545	625,953	609,416	609,443	620,108	
v 直接埋立量(t/年)	13,302	10,185	8,572	8,274	6,678	11,360	
w 資源化等の中間処理量(t/年)	79,576	76,079	71,489	67,182	69,626	81,546	
x 直接資源化量(t/年)	39,400	40,400	34,447	31,960	30,290	30,226	
y 資源化量(t/年)	86,240	88,817	80,712	77,988	76,867	78,053	
z 集団回収量(t/年)	44,445	44,007	39,940	34,124	28,636	30,730	
aa 資源化率(%)	10.8	11.5	10.9	10.9	10.7	10.5	
ab リサイクル率(%)	15.5	16.3	15.5	14.9	14.2	14.1	
ac 1日当たりの最終処分量(t/日)	325	299	268	255	251	285	
全 国	1人当たりのごみ排出量(g/人・日)	1,116	1,089	1,033	994	976	975
	資源化率(%)	14.6	15.2	15.2	15.4	15.7	15.5
	リサイクル率(%)	19.6	20.3	20.3	20.5	20.8	20.4

(注) $i = (e/b) \times 1,000$ $j = (g/b) \times 1,000$ $k = (g/t) \times 1,000$ $l = n + z$ $m = (l/b/365) \times 1,000,000$ ※平成19年度及び平成23年度は「365」を「366」として計算した。 $n = q + r$ $aa = (y/t) \times 100$ $ab = (y+z)/(t+z) \times 100$

3 福島県のし尿処理の状況

(1) 水洗化の状況について

平成23年度の水洗化率は86.9%で、うち下水道による水洗化率は43.2%、浄化槽及びコミュニティプラント（コミプラ）による水洗化率は43.7%（うち合併処理浄化槽による水洗化率は22.5%）となっています。（P20 参照）

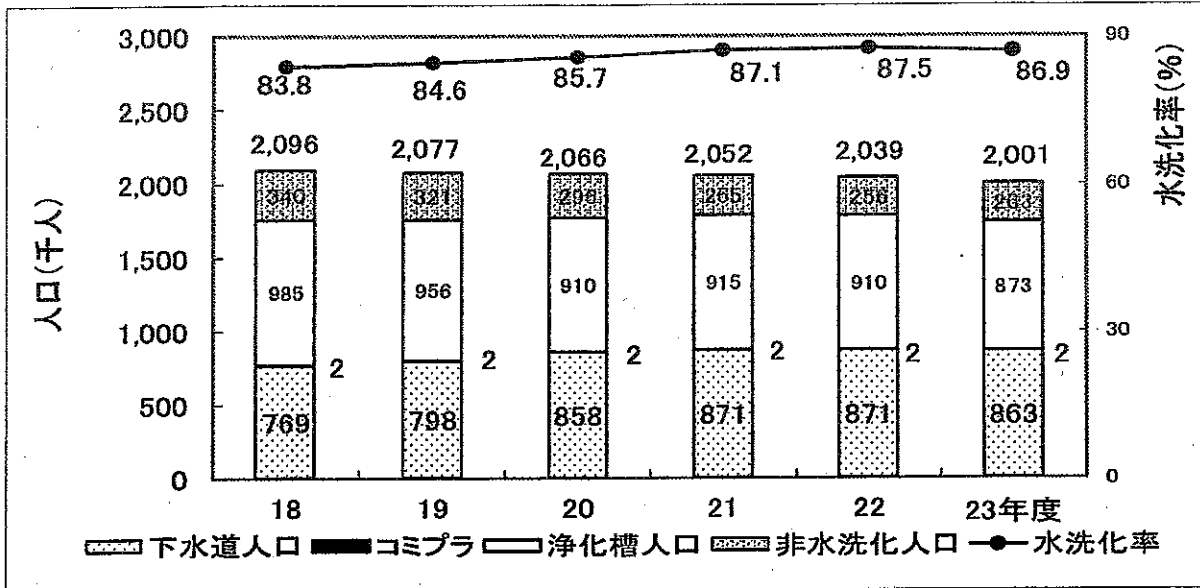


図-6 水洗化人口等の推移

(2) し尿及び浄化槽汚泥の処理方法について

平成23年度のし尿及び浄化槽汚泥の排出量は584,628 kℓで、前年度の603,235 kℓと比較すると18,607 kℓ減少しています。

また、処理方式別に見ると、し尿処理施設等における処理量は508,911 kℓ（87.0%）、下水道投入等が75,401 kℓ（12.9%）、自家処理量が316 kℓ（0.1%）となっています。下水道投入等の増加は、し尿処理施設の被災により下水道での処理をしたことによるものです。

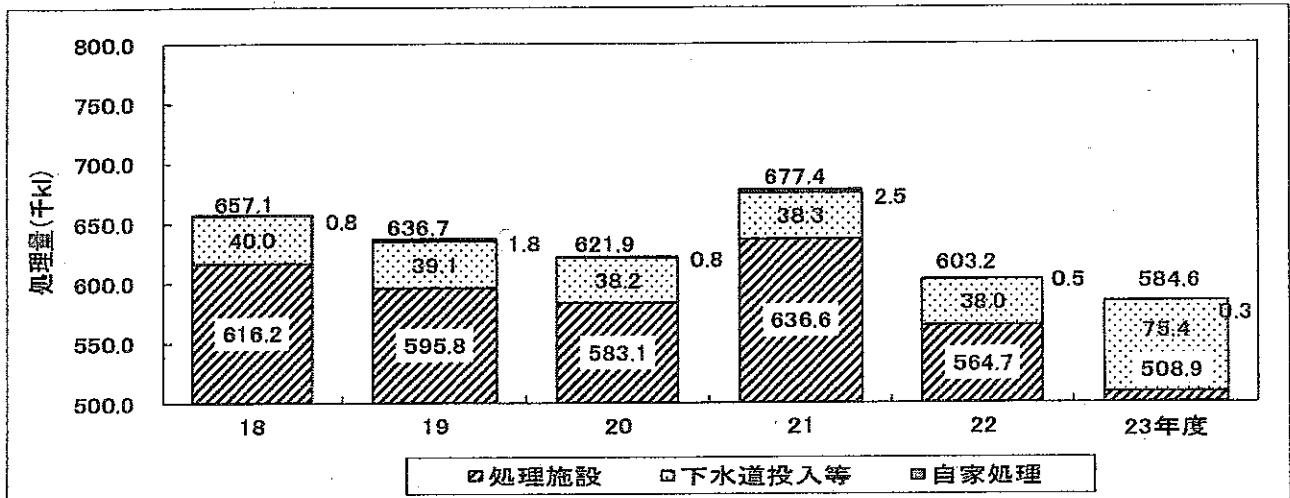


図-7 し尿及び浄化槽汚泥の処理状況

処理人口等 (単位：千人)

処理系統図 (単位：k l / 年)

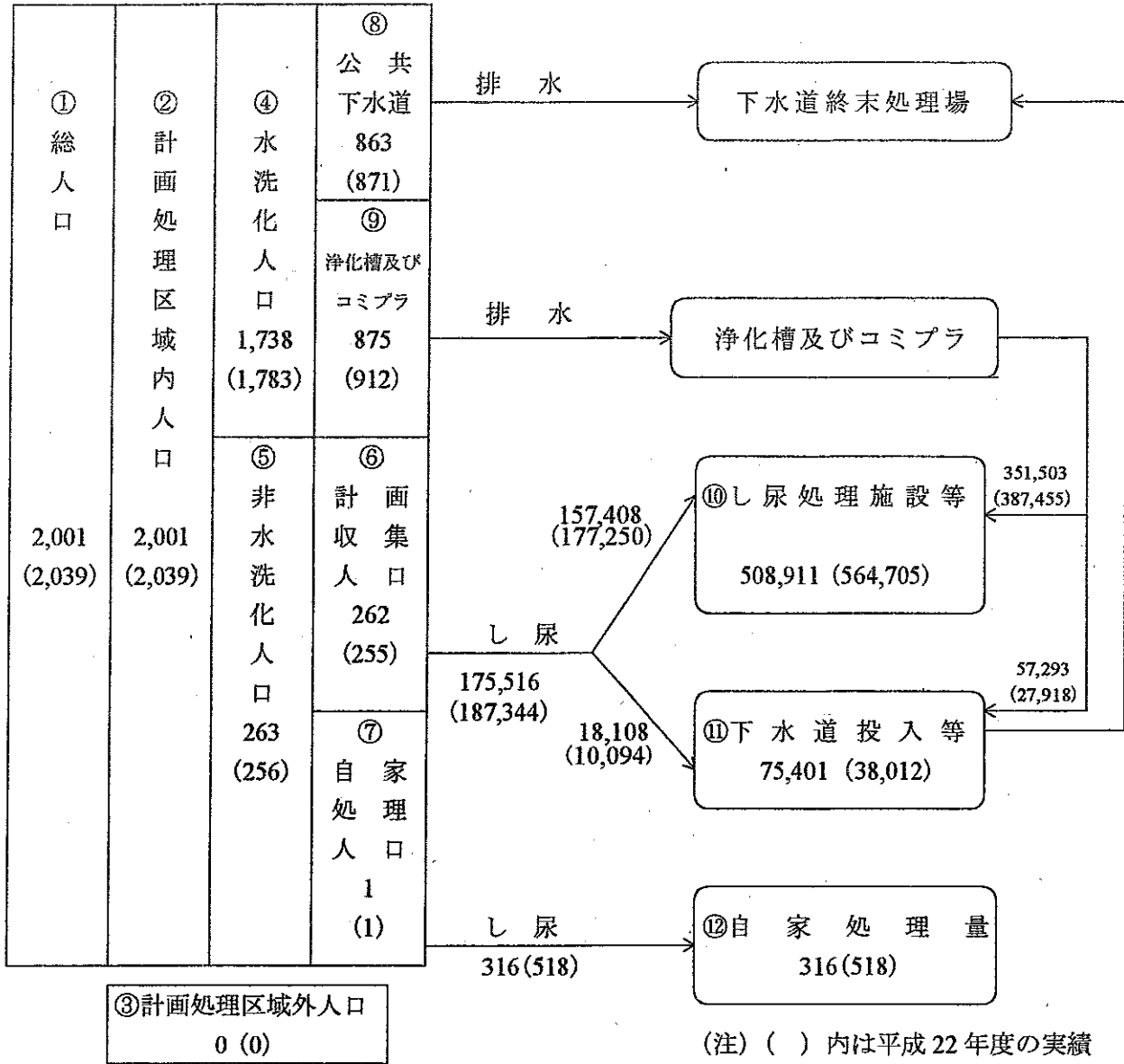


図-8 し尿処理のフロー図

表-12 し尿処理の推移

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
a 総人口(人)①	2,096,295	2,076,623	2,066,222	2,052,182	2,039,345	2,001,202
b 計画処理区域内人口(人)②	2,096,295	2,076,623	2,066,222	2,052,182	2,039,345	2,001,202
c 水洗化率(%)	83.8	84.6	85.7	87.1	87.5	86.9
d 水洗化人口(人)④	1,756,592	1,755,857	1,770,060	1,787,668	1,783,469	1,738,459
e 公共下水道人口(人)⑧	768,879	797,919	857,566	870,655	871,038	863,659
f コミュニティプラント人口(人)⑨	2,543	2,420	2,426	2,609	2,627	2,631
g 浄化槽人口(人)⑩	985,170	955,518	910,068	914,404	909,804	872,169
h 合併処理浄化槽人口(人)	443,236	479,941	471,222	490,624	488,291	450,388
i 非水洗化率(%)	16.2	15.4	14.3	12.9	12.5	13.1
j 非水洗化人口(人)⑤	339,703	320,766	296,162	264,514	255,876	262,743
k 計画収集人口(人)⑥	337,953	319,162	294,666	263,256	254,654	261,861
l 自家処理人口(人)⑦	1,750	1,604	1,496	1,258	1,222	882
m 計画処理区域内のし尿排出量(kl/年)	657,052	636,738	621,974	677,407	603,235	584,628
n し尿処理量(kl/年)	657,052	636,738	621,974	677,407	603,235	584,628
o 計画処理量(t/年)	656,263	634,963	621,304	674,858	602,717	584,312
p し尿処理施設(kl/年)	616,236	594,275	583,090	636,587	564,705	508,911
q ごみ堆肥化施設(kl/年)	0	1,562	0	0	0	0
r 下水道投入(kl/年)	40,027	39,126	38,214	38,271	38,012	75,310
s 農地還元(kl/年)	0	0	0	0	0	9
t その他(kl/年)	0	0	0	0	0	82
u 自家処理量(kl/年)	789	1,775	670	2,549	518	316

(注) $c = (d/b) \times 100$

$i = (j/b) \times 100$

(対総人口ベース)

計画区域率 ②/①=100.0%(100.0%)

水洗化率 ④/①=86.9%(87.5%)

非水洗化率 ⑤/①=13.1%(12.5%)

計画収集率 ⑥/①=13.1%(12.5%)

自家処理率 ⑦/①=0.0%(0.1%)

公共下水道水洗化率 ⑧/①=43.2%(42.7%)

浄化槽及びコミプラ水洗化率 ⑨/①=43.7%(44.7%)

(対非水洗化人口)

計画収集率 ⑥/⑤=99.7%(99.5%)

自家処理率 ⑦/⑤=0.3%(0.5%)

(3) 浄化槽の設置状況について

新設浄化槽基数は表-13のとおり平成18年度以降は減少傾向でしたが、平成23年度は前年度の新規設置基数を738基上回り、4,383基（対前年度比103.8%）となっています。

また、浄化槽設置基数の推移については、次頁の図-9のとおり、平成14年度をピークに減少に転じており、その後平成17年度以降は横ばい傾向となっています。

平成23年度の浄化槽設置基数は269,299基で、そのうち単独処理浄化槽が173,160基と64%を占めています。

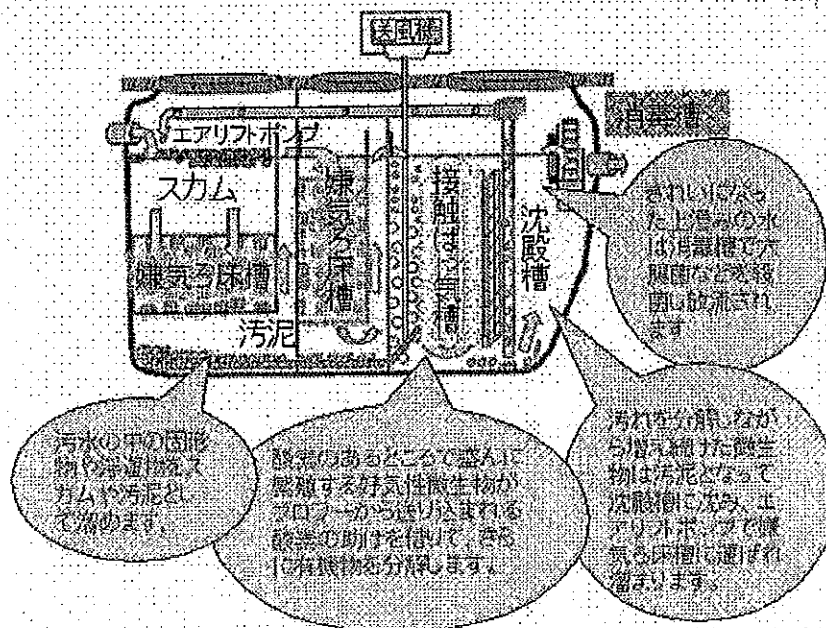
表-13 年度別新規設置基数

年度	18	19	20	21	22	23
基数	5,574	4,761	4,221	3,894	3,645	4,383

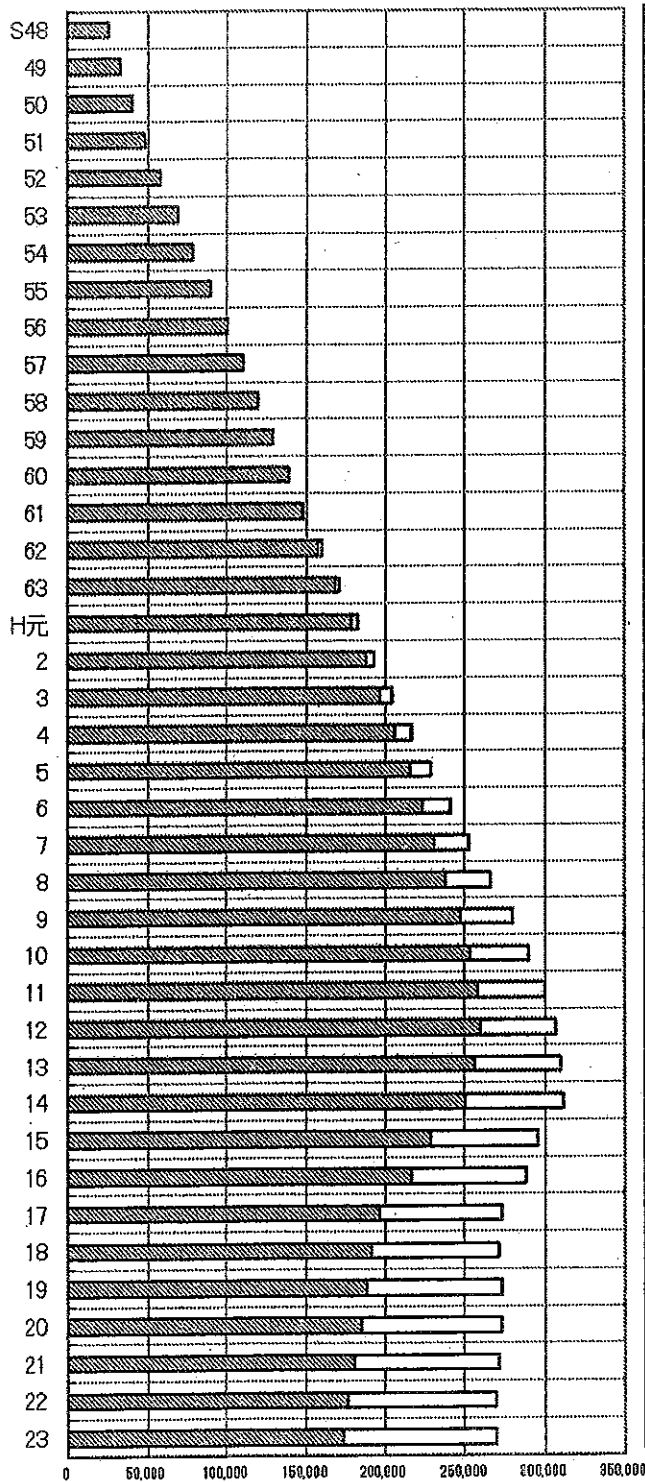
表-14 平成23年度末人槽別設置基数

人槽規模	5~20	21~100	101~200	201~500	501~	合計
基数	248,378	17,893	1,545	1,066	417	269,299

〈参考〉浄化槽のしくみ（嫌気ろ床接触ばっ気方式の例）



(年度)



年度	单独处理净化槽	合併处理净化槽	合計
昭和48	25,460		25,460
49	32,182		32,182
50	40,186		40,186
51	48,330		48,330
52	58,369		58,369
53	68,776		68,776
54	78,329		78,329
55	88,769		88,769
56	100,090		100,090
57	109,812		109,812
58	118,967		118,967
59	128,446		128,446
60	138,273		138,273
61	145,912	2,046	147,958
62	156,964	2,372	159,336
63	167,651	2,953	170,604
平成元	177,978	4,064	182,042
2	187,183	5,430	192,613
3	196,843	7,339	204,182
4	206,038	9,735	215,773
5	214,787	13,242	228,029
6	222,965	17,419	240,384
7	230,299	22,023	252,322
8	237,607	27,917	265,524
9	246,635	32,455	279,090
10	253,293	36,483	289,776
11	257,421	42,022	299,443
12	259,037	47,355	306,392
13	255,162	54,694	309,856
14	250,030	60,957	310,987
15	228,431	66,518	294,949
16	215,641	72,275	287,916
17	196,915	75,480	272,395
18	190,947	80,266	271,213
19	187,916	84,262	272,178
20	184,988	87,271	272,259
21	180,519	90,508	271,027
22	176,165	92,821	268,986
23	173,160	96,139	269,299

(基数)

■ 单独处理净化槽
□ 合併处理净化槽

図-9 浄化槽設置基数の推移